

独立行政法人日本スポーツ振興センター契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年12月14日（月） 独立行政法人日本スポーツ振興センター 特別会議室	
委員	委員長 清水 幹裕（弁護士） 委員 青山 伸一（公認会計士） 委員 大橋 玲子（監事）	
審議対象期間	平成27年4月1日～平成27年9月30日	
審議案件（合計）	20件	（備考） 契約案件96件から20件を抽出し、審議を行った。 抽出案件について説明を行い、各委員の質問等への回答を行った。
物品・役務等（小計）	17件	
競争性のない随意契約	3件	
一者応札・一者応募	10件	
複数者応札	4件	
工事（小計）	3件	
競争性のない随意契約	1件	
一者応札・一者応募	2件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別添のとおり	別添のとおり

委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	回答
一者応札・一者応募（物品・役務等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・「海外サッカーの試合結果情報の提供等」において、一般競争参加資格の条件として実績を求めているが、この業務は実績を積み上げられるものなのか。 ・一般競争参加資格の条件として実績を求めた結果、一者応札になった案件は結構あるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興くじ結果に誤りがあってはいけないため、「日本国内において海外サッカーの試合情報を第一次配信している実績があること」を条件とせざるを得ないものであった。 ・条件をつけると競争性を狭めてしまうため、必要のない案件については条件をつけないようにしているが、システムの案件に関しては条件をつけることが多い。
一者応札・一者応募（工事）	
<ul style="list-style-type: none"> ・「天井吊ファンコイル更新工事」において、実施規模（117台）に対し3割（30台）程度の実績を求めているが、3割の実績を持つ者は多くないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新工事自体は難しい工事ではないが、結果として一工事当たり30台の実績を要件とするのは厳しかったと思われる。また、施工条件が平日の夜間及び休日の作業となることも影響したと思われる。
審議結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・2か年度連続で一者応札・応募となった海外製品の購入については、調達等合理化の観点からも随意契約事前確認公募の実施について検討すること。 ・一般競争参加資格の条件を緩和しても業務の質を確保できるならば、条件を緩和して入札を実施すること。 	